



幕末・明治期における 津軽寺院と宗教文化の展開

— 深浦円覚寺の古典籍からみえる近代 —

2020年度 深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会
弘前大学深浦エコサテライトキャンパス 令和2年度特別公開講座

ZOOMによるWeb開催

2020年 (事前予約制)

11月1日 日

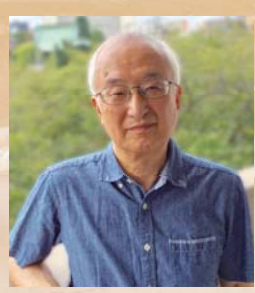
13:00~15:50

パブリックビューイング会場 (青森県弘前市文京町1番地)

弘前大学人文社会科学部4階 多目的ホール

事前予約制・定員40名(先着順)・青森県内在住者対象

本プロジェクトによる深浦円覚寺の古典籍保存調査活動を通して、津軽地域一円の仏教文化圏が徐々にあぶりだされてきました。第3回目となる本フォーラムでは、幕末から明治期にかけての激動の時代における宗教文化の近代化と津軽仏教圏の展開というエポックに焦点をあててみます。調査報告とあわせて、特別講演として日本思想史研究をリードする末木文美士先生に、近代化する明治期の仏教圏とそれをとりまく近代知識人たちの文化環境についてお話しいただきます。Web開催により弘前大学・深浦町・東京をオンラインでつなぐ“もうひとつの地域連携発信型”の新たな試みに、みなさんも参加してみませんか。



特別講演

明治の仏教

— 真言宗を中心として —

東京大学名誉教授
国際日本文化研究センター名誉教授

末木 文美士 先生

1949年生、山梨県出身。東京大学博士(文学)。東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授、総合研究大学院大学(総研大)名誉教授。

ご専門は、仏教学および日本思想史・宗教史。中世仏教を中心に、近現代の仏教思想まで広く論じる。御著書が多数あり、主なものとして『日本仏教思想史論考』(大蔵出版、1993年)、『平安初期仏教思想の研究』(春秋社、1995年)、『思想としての近代仏教』(中公選書、2017年)などがある。今回のご講演では、明治の仏教界について、真言宗を中心に幅広くご解説いただきます。

主催 深浦町 弘前大学 深浦町教育委員会
弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

後援 弘前市 東奥日報社 陸奥新報社

公益財団法人青森学術文化振興財団の助成を受けています

※深浦町会場については、深浦町よりご案内があります。

※社会状況によっては会場での公開視聴は中止する場合があります。

問い合わせ

弘前大学人文・地域研究科総務G 担当:外崎
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話:0172-39-3192 Eメール:jm3192@hirosaki-u.ac.jp

プログラム

【※】は東京(大正大学)より配信いたします。

- 13:00 開会の辞 深浦町長 吉田 満
- 13:05 ご挨拶 円覚寺副住職 海浦 誠観
- 13:10～13:30 報告1 深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクトの意義と現況
大正大学 教授・前 弘前大学人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子【※】
- 13:30～14:00 報告2 中近世と近代をつなぐ宗教資料と知の位相
弘前大学人文社会科学部 准教授 原 克昭
- 14:00～14:30 報告3 海浦義観と津軽の近代
(休憩10分) 弘前大学人文社会科学部 准教授 尾崎 名津子
- 14:40～15:45 【特別講演】 明治の仏教—真言宗を中心として—
東京大学 名誉教授・国際日本文化研究センター 名誉教授
末木 文美士 先生【※】
- 15:45 閉会の辞 弘前大学 理事(社会連携担当)・弘前大学 深浦エコサテライトキャンパス所長
石川 隆洋
- 15:50 閉会

報告者紹介

大正大学文学部 教授
前 弘前大学人文社会科学部 教授

渡辺 麻里子

博士(文学)。専門は、日本中世文学(仏教文学・説話文学)、文献資料学。主な業績に、「中世文学研究における寺院資料調査の可能性」(『中世文学』56, 2011年)、「天台談義所をめぐる学問の交流」(『中世文学と寺院資料・聖教』竹林舎, 2010年)、「天台仏教と古典文学」(『天台学探尋』法蔵館, 2014年)など。

弘前大学人文社会科学部 准教授

原 克昭

博士(文学)。専門は日本思想史・宗教文化史。主な業績に、著書『中世日本紀論考—註釈の思想史』(法蔵館, 2012年)、編著『宗教文芸の言説と環境』(シリーズ日本文学の展望を拓く3、笠間書院, 2017年)、共編著『習合神道』(続神道大系・論説編、(財)神道大系編纂会, 2006年)など。

弘前大学人文社会科学部 准教授

尾崎 名津子

博士(文学)。専門は日本近現代文学。主な業績に、著書『織田作之助論 〈大阪〉表象という戦略』(和泉書院, 2016年)、編著『織田作之助女性小説セレクション 怖るべき女』(春陽堂書店, 2019年)、共編著『「言論統制」の近代を問いなおす—検閲が文学と出版にもたらしたもの』(花鳥社, 2019年)など。

参加申し込み方法(事前予約制) 参加をご希望する方は、Eメール・お電話でお申し込みください。

■ZoomアプリによるWeb視聴参加

【申込期限:10月23日(金)まで】

Eメールよりお申し込みください。

お申し込みいただいたメールアドレスに、Zoom視聴用URLをお知らせいたします。各自Zoomアプリ(無料)をダウンロードしてください。参加者のみなさまはカメラオフで参加可能です。なお、開催数日前になってもお知らせメールが届かない場合はご連絡ください。

■問い合わせ

弘前大学人文・地域研究科総務G 担当:外崎
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話:0172-39-3192 Eメール:jm3192@hirosaki-u.ac.jp

■弘前大学パブリックビューイング会場での公開視聴参加

(人文社会科学部4階・多目的ホール・定員40名・先着順)

【申込期限:10月23日(金)まで】

電話・Eメールよりお申し込みください。
青森県内在住者に限らせていただきます。
感染拡大防止のため、会場での御参加の際は必ずマスクの着用をお願いします(会場にマスクの用意はございませんので、各自ご準備をお願いします)。また、当日体調の優れない方は、ご無理をなされないようにお願いします。

※深浦町パブリックビューイング会場につきましては、別途に深浦町より案内があります。

弘前大学深浦エコサテライト ト-campus特別公開講座

【幕末・明治期における津軽寺
院と宗教文化の展開】

▼とき 11月1日（日）

13-65 午後1時～3時50分

▼ところ Zoomによるオン
ライン配信

※公開視聴会場として弘前大学
人文社会科学部4階多目的ホー
ルを用意しています。

▼内容 深浦円覚寺古典籍保存
調査プロジェクトの成果報告、
特別講演「明治の仏教-真言宗
を中心として」…講師・末木文
美士さん（東京大学名誉教授）

など

▼定員 Zoomの視聴は300
人。公開視聴会場は40人（先
着順）。

▼参加料 無料

※事前の申し込みが必要。

問弘前大学人文・地域研究科
総務グループ（外崎さん、☎
39-3192、E jm3192@
hirosaki-u.ac.jp）

円覚寺古典籍保存調査 プロジェクト成果報告会 （東京・弘前からの オンライン講座）

円覚寺が所蔵する古典籍につ
いて、これまでの調査でわかった
ことを前弘前大学渡辺麻里子教
授などから報告していただきま
す。また、特別講演として、東京
大学名誉教授末木文美士先生か
ら真言宗を中心とした明治の仏
教についてご講演いただきます。
今回は新たな試みとして東京・
弘前からのご講演を深浦会場でご
覧いただけます。ご興味がある方は
ぜひこの機会にご参加ください。

◆日時

11月1日（日）

13時～15時30分

◆会場

役場1階 町民文化ホール

◆参加費

無料

◆募集人員

30名

◆参加申込

10月28日（水）までに、お申込
みください。

□申込・問合せ先

教育課 社会教育係

Tel 74-4419

FAX 74-3050